# 放射能から子どもを守り
# １人の被ばく者も出さない

〈日光･放射能から子どもを守る会〉2012.07.20//no.38

赤10～30万,黄 6～10万
緑 3～6 万、紺 1～3万
水色～1万 ベクレル/㎡

地表面セシウム汚染地図
2011.08. 02現在換算値
文部科学省制作

## 4万ベクレル以上は住めない地域！
## 赤、黄、緑の地域に住んでいませんか！
## 汚染地は捨てるしかない、無人地帯に！

これまで、チラシ配布の中で、「この栃木県の地図をどう見ればいいの？」「赤とか黄色のところは危ないところ？」「この地図見せられると、やっぱり汚染されてる」「この地図、あんたがつくったの？(まだ、文科省制作と明示していなかったとき)」「那須はすごいと知っていたけど日光も同じだね」などの声をもらいました。

右上の栃木県放射能土壌汚染地図は、放射能汚染の危険性を示す証拠です。ベクレルは、物質、土壌や農産物などに放射性物質が含まれている数値です。

さて、長年放射能を研究し続けながら、原発の危険を訴え続けてきている小出裕章さん(京都大学原子炉実験所)は、4万ベクレル/㎡の値を、「放射線管理区域外に存在させてはならない法律でした」といいます。しかし、政府は原発が崩壊すると、経済優先の姿勢で、以前の法律を変えて、「直ちに健康に影響はない」と、人々の健康を無視した誤魔化しです。これと同じく日光市も、経済、観光優先で、市民の健康を犠牲にして、人々が放射能汚染の地で無防備のまま生活させられています。

小出裕章さんは、次のように言っています。〈講演などの抜粋〉

**日本の法律を守れば、４万ベクレル/㎡以上の放射能汚染の地は、東北地方、関東地方に広大に広がり、これらを放射線管理区域に指定して一般の人の立ち入りを禁止し、無人地帯にしなければならない。しかし、現在、この地には数１００万人が生活しています。本来、人は住んではいけない、子どもを連れて行ってはいけない、もちろん、子どもを産んではいけない場所で普通に子どもを産んで、子どもを育てるという生活を強いられ、被ばくを強いられている・・・・・**

**また、政府は、除染をすれば、被ばく量を減らせるかのように言うが、人間には放射能を消す力はない。**

**風が吹くときは**
**マスクをしよう!!**
**布団干し、洗濯物は室内で**

風の吹く日は地表の放射性物質をまきあげそれを吸い込み、内部被ばくの危険が高まります。布団･洗濯物に放射性物質が付いては困ります。チョッとの注意の心がけを！

---

### 日光市の該当するゾーンは？

❑チェルノブイリ･ゾーン ❑〈1999.ナスビット論文より〉

| | |
|---|---|
| ① 移住義務ゾーン | 5mSv/年以上 |
| ② 移住権利ゾーン | 1 mSv/年以上 |
| ③ 放射能管理強化ゾーン | 0.5 mSv/年以上 |

②移住を希望すれば資金など支援
③厳重な放射能汚染対策を実施する地域

❑ 政府の放射能除染基準//毎時0.23μSv ❑
日常生活で8時間以上屋外活動禁止が前提、内部被ばく除外。成人対象で、妊婦、乳児、子ども、女性など無視。
〈上記基準/参考*ICRP-年間1mSv/公衆被ばく限度基準〉
❖年間0.1mSv/公衆被ばく限度基準欧州放射線リスク委員会

❑栃木県原発崩壊前/毎時 0.038～0.044μSv❑

### 日光市放射能汚染分布

2011.10.03-12 調査/日光市
測定地上 50cm

| マイクロシーベルト/以上～未満 | | |
|---|---|---|
| 0.1 未満 | 1 ヶ所 | 0.2% |
| 0.1～0.2 | 155 ヶ所 | 28.8% |
| 0.2～0.3 | 187 ヶ所 | 34.8% |
| 0.3～0.4 | 152 ヶ所 | 28.3% |
| 0.4～0.5 | 30 ヶ所 | 5.6% |
| 0.5～0.6 | 10 ヶ所 | 1.9% |
| 0.6～0.7 | 2 ヶ所 | 0.4% |
| 0.7～0.8 | 1 ヶ所 | 0.2% |

*〈ICRP 国際放射線防護委員会〉

## News - 日光市は「水」も「空気」も「食べ物」も安全でした〈日光安全だった宣言〉

❑農水省/12日、今年産米の放射性物質検査17都県約4万カ所で実施！(昨年の10倍以上)/基準値 500 から 100 ベクレルへの引き上げと、昨年、検査をすり抜けが背景。昨年、旧日光町 55Bq、旧今市町 21Bq の汚染。❖日光市は「安全」と観光優先。しかし、今年、米作付農家にカリウム 28,000 袋(5000 数百万円)援助。日光市は汚染地帯！

**◆政府、日光市認定『除染地域』でイベント花盛り！！◆**

❑「真夏の氷上祭典」アイスショー(24～25 日/日光霧降アリーナ)素晴らしい。しかし、「所野」は除染地域。龍王祭(20～22 日) 龍王峡(「藤原」)、「鬼怒川温泉」は除染地域。日光市では除染地域でも「安全!?」です。『除染地域』って何に？どこまで隠せるか！

❑「韓国ドラマ撮影」10 日から日光市内で始まる。撮影地の「鬼怒川温泉」、日光江戸村(「柄倉」)は除染地域。経済効果 2 億円期待で、栃木県･日光市は 3000 万円支援！

❑脱原発〈代々木公園 10 万人集会〉17 万人集結。年寄りも若者も夫婦で参加目立。

### 放射能は危険 放射能汚染地帯で生活続けるチエ

❑全食品、食材の検査が大事です。行政の責任でやるべきです。
基準値以下でも、特に、子ども、女性、若者には食べさせない。汚染ゼロを!
食べるものは、汚染されていない県、地域のものに心がけましょう。
同産地、同じ食品は食べ続けない。全ての放射線量測定をして安全が確認できない中では、汚染されるものを食べ続けないためのチエです。

❑うららかな春。花壇、家庭菜園、楽しみですが土は汚染されており避けたいです。
もし、やるとすれば、手袋、マスクをしてください。終わった後は、よく手を洗い、うがいをしましょう。服や靴の土･ほこりなどを取ってください。

❑放射能の危険から子どもを守る//高い線量の所には近づかない。マスクをする。
「保養」「一時避難」「疎開」「移住」など考える。相談体制を検討。行政の支援要求。

❖チラシ･バックナンバー見られます//PDF http://atsugichild.web.fc2.com/
〈日光･放射能から子どもを守る会〉tel･0288･26･0130//nairamdal-1871@dream.jp

「安全」なら、なぜ除染？除染基準0.23μSv/hは何に！？

# 0.41μSv/hから0.20μSv/hに激減！　県は無視！

〈μSv/h=毎時マイクロシーベルト〉

県立学校(日光市内)の除染対象 0.23μSv/h 以上は、4 校のうち、今市特別支援学校(校庭)と、日光明峰高校(第 2 運動場)だけです。昨年の線量、推定線量値は？

各学校の測定値(※2)(※3)は、その時点で校庭の線量でしょう。しかし、なぜ、急激に減ったのでしょうか。放射性セシウムの物理的半減期は世界共通です。減少した放射性物質は、風などや運動靴などに付着して移動したのでしょう。※4の放射性物質は周辺に飛散し、校庭を除染しても、逆に風などで急に放射線量が上がるでしょう。逆に、低下している学校は、風で急に高くなることになります。安全ならなぜ除染？

## 栃木県立学校の放射線量〈日光市内〉

単位/毎時マイクロシーベルト/μSv/h

〈測定地校庭の中心/地表1m〉

※1　栃木県、県教委会測定/2011.05.13-19

※2　栃木県2011.12測定値/最低～最高値//平均値

※3　栃木県除染のための線量測定平均値/20120705-06

※4　1年後(2012.05)放射線量セシウム減少の推定値〈※1×0.85〉約15%減少/四捨五入

| | ※1 | ※2 | ※3 | ※4 |
|---|---|---|---|---|
| 日光明峰高等学校 | 0.41 | 0.24～0.30//0.28 | 0.20 | **0.35** |
| 今市特別支援学校 | 0.50 | 0.24～0.34//0.31 | 0.28 | **0.43** |
| 今市高等学校 | 0.30 | - | - | **0.26** |
| 今市工業高等学校 | 0.35 | - | - | **0.30** |

※1の線量値は、汚染から2カ月経ち、風や生徒の靴などで移動して周辺よりも低いと思います。

## チラシ配布から-5　高校生なら自ら「低線量被ばく」の判断を！

❖毎週の早朝、駅でのチラシ配布は、高校生に読んでもらうよい機会で、子どもに次いで、放射能の長期の低線量被ばくの影響を受ける世代です。特に、女子生徒は、次世代の遺伝子が変質や傷ついては大変です。放射能は人間に「危険」というのが国際的常識です。しかし、日本政府、行政、マスコミは「安全」を強調する流れです。ぜひ、将来の問題ですから放射能の危険を調べて考え、判断してください。インターネットサイトで、「チェルノブイリ(原発事故)」「低線量被ばく」「内部被ばく」「欧州放射線リスク委員会(ECRR)」など放射能の危険性を調べみてください。何が正しいか判断力が問われます。社会に出れば、自分で何事も判断しなければなりません。今、放射能被ばくは、若い人にとって将来の大問題です。その判断力が試され、問われています。


❑幼児、子どもなどは、日光市内に5年、10年‥住み続けると健康への危険が高まる　no19
❑日光市内観光業者は、東電(政府)から損害賠償金56億6千万円受理(03.05時点) no21
❑日光の線量値、3月9日からなぜかグ～ンと低下-文科省、高精度測定器自動化で?no21


汚染園庭で土遊びまでさせる日光市の姿勢！

# 乳幼児を被ばくの危険にさらすのをやめて！

〈ゴシック地名/日光市認定除染地域〉

日光市は、以下の保育園、児童館で、1、2 歳の小さな子に園庭などを平日の午前中など開放しています。施設の放射線量は、以下の通りです。小さな子たちは、庭で遊ぶと必ず土に触ります。放射能に敏感な小さな子にとって、たいへん被ばくの危険が高まる線量です。教育委員会は、はっきり「安全」と言わず、「リスクはある」とは言います。地表の線量は測定していず、チラシなどに放射線量を記載、表示するよう話すと、市の方針で、知りたい人はインターネットでとの姿勢です。日光市の放射能は安全？怖い!

1～2 歳の子が、この線量下で、さらに土遊びは、恐ろしいことです。今すぐは問題ないでしょう。しかし、数年後、10 年‥‥後、被ばくで疾病してからでは遅いです。日光市は、子どもたちの健康を真剣に考えていません。政府が、県が‥‥です。

園庭中央の線量は、風で飛びさり低下していますが、周囲の線量はそれほど減少していず、風が吹くと急に線量が上り、呼吸器官から放射性物質は体内に入ります。

※1　日光市〈2012.06.25～30/最低値～最高値〉

※2　栃木県測定(2011.05)1年後(2012.05)放射線量セシウム減少の推定値約15%減少〈×0.85〉　園庭中心地表50cm

| 施設名 | 地名 | ※1 | ※2 |
|---|---|---|---|
| せせらぎ保育園 | 瀬　尾 | 0.19～0.30 | **0.36** |
| しばやま保育園 | 荊　沢 | 0.14～0.20 | **0.32** |
| 落合児童館 | 文挟町 | 0.11～0.22 | **－** |
| 豊岡児童館 | 大桑町 | 0.23～0.45 | **－** |
| 並木保育園 | 瀬　川 | 0.14～0.20 | **0.26** |
| 塩野室児童館 | 小　林 | 0.13～0.20 | **－** |
| 原町みどり保育園 | 平が崎 | 0.14～0.22 | **0.26** |

## 放射能汚染地帯で健康で生き抜くチエ-6

### 風の日は①　寝具、洗濯ものは、軽くたたいて取り込みを！

天気の良い日は、洗濯日和です。しかし、日光は汚染地帯で、放射性物質は地面に積もり、放射線を出し続けています。放射性物質は極々小さなチリのようなもので、風が吹くと舞い上り、飛んできて放射線量を高めます。そして、布団や洗濯ものに放射性物質が付着する可能性があります。このままでは家に放射性物質を取り込み、呼吸することで体内に放射性物質が入る内部被ばくも考えられます。

なるべく、風の日は、布団、洗濯干しは、室内がお勧めです。しかし、外に干す場合は、ぜひ、取り込みの際は、軽くたたく習慣に！長い汚染地帯で生活するチエです。


❑日光市放射能汚染分布(2012.02-03) アスファルト測定で平均線量24%減少と誤魔化し安全宣言！日光のセシウム合計は半年で約7%減少し、それ以外は移動しただけ！no.26
❑井戸水検査OK-だいや川公園内-日光ブランド情報発信センター放射線検査室 no.33